

<令和5年9月定例記者会見>

1 開催日時

令和5年9月1日（金）午前10時～10時25分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

盛岡タイムス社、岩手ケーブルテレビジョン、岩手日報社

4 発表事項

（1）新型コロナワクチン接種について（健康推進課）

新型コロナワクチン接種についてであります。

9月下旬より、令和5年秋開始接種がはじまります。使用するワクチンは、オミクロン株XBB対応ワクチンです。接種の対象者は、5歳以上で2回目接種を受けた方と、生後6か月～4歳で3回目接種を受けた方になります。また、まだ初回接種を受けていない方は、9月20日以降はオミクロン株XBB対応ワクチンで、初回接種を受けることとなります。

接種開始は、12歳以上は9月25日、5～11歳は10月11日、生後6か月～4歳は10月17日を予定しております。

秋開始接種の予約受付は、9月19日（火）午前9時から開始します。初回の予約は9月25日（月）から10月28日（土）までの5週間分を受付する予定です。

春開始接種と同様に、約4週間から5週間分の予約を一斉に開始し、比較的長いスパンで予約を受け付ける方法といたします。接種体制は、令和6年度に通常の予防接種に位置付けられる予定であることから、個別接種で行います。

なお、秋開始接種が始まるまでの間は、生後6か月～11歳の方の接種は実施していますが、12歳以上の人への接種体制を一時休止しています。

（2）健幸スマイルスタジオについて（健康推進課）

本市では、妊婦さんや子育て中のお母さんが参加できる、運動と相談と交流が一体となった「健幸スマイルスタジオ」を新たに開始しますのでお知らせします。

今月から、筑波大学を中心とした産官学のチームにより、全国12自治体・2地区で「『ママもまんなか』子育て支援プロジェクト」がスタートします。このプロジェクトに取り組む背景には大きく2つの課題があります。

1つ目は、若い女性の痩せや体力不足による妊娠・出産・子育て期間を通しての母親の健康課題。例えば、育児疲れや産後うつなどの課題があります。

2つ目は、子育てに対する寛容性の低下が危惧されていることから、社会全体で子育てへの機運を高める必要があること、などであります。

まずは、この1つ目の課題に対応するため、市が実施主体となって「健幸スマイルスタジオ」を開催します。この「健幸スマイルスタジオ」の概要についてですが、対象者は、妊娠16週から産後2年程度までの母親です。教室の種類は、オンライン教室とオンサイト（対面）教室の2種類があります。

1つ目のオンライン教室は、運動と交流を組み合わせた教室を全国の参加自治体が共

同でオンライン開催し、参加者は、自宅でオンライン教室に参加することができます。

2つ目のオンサイト（対面）教室は、運動と交流・相談を組み合わせた教室で、本市では、ビッグルーフ滝沢を会場に月1回開催します。運動は、運動指導ができるヨガの講師を、相談は、市の保健師や助産師が担当します。

開始時期は、オンライン教室が令和5年9月25日から配信、オンサイト教室は、10月23日から開始します。なお、本市で実施するオンサイト教室は、9月11日にプレ開催を予定しています。参加費は、1か月で税込550円、申し込み方法は、市ホームページの健幸スマイルスタジオ専用申込サイトから事前の予約が必要となります。

東北では、本市が唯一の実施自治体となりますので、より多くのママたちに自身の健康づくりに関心をもっていただき、この健幸スマイルスタジオに参加してもらいたいと考えております。

(3) ふるさと納税の推進及びチャグチャグ馬コの継承を目的とするふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングの実施について（観光物産課）

今年度のチャグチャグ馬コでは、22万3千人という過去最高の人出を記録しました。その一方、装束馬の出馬頭数は55頭と、ピークであった平成2年の102頭から半分近くまで減少しており、大きな課題となっております。そこで本市ではチャグチャグ馬コ馬資源確保事業として、市内の馬資源の確保及びチャグチャグ馬コの維持を目的に、メスの農用馬を所有し、及び繁殖させ、生産された仔馬をチャグチャグ馬コへの出馬者に無償で譲渡する取組みを行ってきました。これまで5人のチャグチャグ馬コ同好会滝沢支部会員に計5頭を無償譲渡しています。

この度、市有馬「滝姫」がメスの仔馬を産んだので、これを機会と捉え、ふるさと納税の推進及びチャグチャグ馬コの継承を目的として、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施いたします。この取組みをきっかけに、チャグチャグ馬コの新たなファンの獲得と伝統文化の継承に向けたさらなる支援につながることを期待しております。

1 掲載サイト（運営会社）

ふるさとチョイス（株式会社トラストバンク）

2 目標額

300万

3 募集期間

令和5年9月8日から令和5年12月6日まで（90日間）

4 寄附金の使い道

チャグチャグ馬コの実施や装束馬の派遣事業、市有馬の維持、仔馬の無償譲渡など（チャグチャグ馬コ関連事業、チャグチャグ馬コ馬資源確保事業等）

(4) 滝沢市の特産品開発事業について（観光物産課）

市では、市の特産品の創出及び育成を図ることを目的として、新たに特産品の開発や普及を行う市内事業者に対し、補助を行っております。

本日は令和4年度特産品開発振興事業補助金を活用して開発された、新たな滝沢市の

特産品を4つを紹介します。

1つ目は滝沢産の野菜・フルーツを使ったお菓子とその商品ラベル及びリーフレットです。製造者の澤口恭志（さわぐちきょうじ）さんは、自家栽培した滝沢市産野菜や果物をケーキやピクルスに加工しました。そして、商品ラベルやリーフレットで商品や事業内容を知ってもらうことで、多くの人の購買意欲を高めることができ、商品と地域の魅力を伝えることができると考えています。現在、賢治の大地館、直売所、ウェブサイトで販売されています。

2つ目はスイカのラベルステッカーです。滝沢で生産されているスイカは、品種によって様々な特徴と食味がありますが、製造者の主浜和景（しゅはまともあき）さんはそれらを見ただけで区別できるように、ラベルステッカーを作成しました。たきざわキッチン等で販売されているスイカに貼られています。

3つ目は滝沢スイカの缶詰です。製造者の駿河農園ベジスルさんは旬の時期以外にも美味しい滝沢スイカを食べてほしいとの思いから4年の歳月をかけ、スイカの缶詰を開発しました。スイカの瓜臭さの解消やシャリシャリの食感などを残すことができました。チャグまるしえでは2缶2,000円で販売されています。ご好評につき、現在品切れ中ですが、今年度製造分は9月中旬ごろからたきざわキッチン、チャグまるしえで購入できる他、ふるさと納税の返礼品としても提供される予定です。

4つ目はすいか酢です。製造者の滝沢産業開発株式会社さんは、スイカの収穫期後も残っているスイカを活用したいとの思いからスイカ果汁を6か月発酵させてすいか酢を開発しました。今回、このすいか酢を使った飲みやすいドリンクが完成しました。希望小売価格は税込み1,080円です。銀河プラザで行われたたきざわ物産展や滝祭で試食販売を行ったところ、ご好評をいただきました。令和5年9月30日（土）に開催される滝沢市観光物産協会まつりで販売会を実施します。

令和5年度におきましても、6件の事業に対して補助を行っています。今後も滝沢市の新たな特産品の開発と魅力発信に向けて、事業者の皆様と協力していきたいと考えております。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：クラウドファンディングの件について、市長のご見解を伺えればと思います。

市長：チャグチャグ馬コは、観に来ていただいた方からの反響の大きさを感じているところです。その上で、このチャグチャグ馬コを今後展開・継承していくなかで、課題がたくさんあるという事を知っていただきたいことと、これからも継続していくために、馬を飼育している皆さんや引き手、乗り手の方についても一緒になって育てられるような事業にしていきたいと思っています。また、チャグチャグ馬コ開催日だけではなく、県内外に少しでも出向きながら、チャグチャグ馬コの魅力を伝えられるようにしていきたいです。また、鈴の音をいろんな方に聞いていただきたいと思っていますし、そのためにも今回クラウドファンディングによってお金を集めて、少しでも馬事文化の振興あるいはチャグチャグ馬コの振興に役立てていきたいとの思いです。

記者：健幸スマイルスタジオについて、申し込みについて事前の予約が必要とのことですが、申し込みの開始時期は決まっていますか。

健康推進課長：9月1日（本日）から申し込みできるようになっております。

記者：特産品開発事業の「滝沢スイカの缶詰」の販売はいつから始まったのか、また「滝沢産業開発株式会社」がどういった会社なのか教えてください。第3セクターのような会社なのでしょうか。

経済産業部長：スイカの缶詰が最初に発売されたのは冬頃だったと記憶していますが、詳しいことは会見終了後に確認させてください。（→令和5年2月頃に販売開始。）

また、滝沢産業開発株式会社は第3セクターではありません。こういった滝沢の特産品や産業振興、地域おこしなどを目的として、民間で立ち上げた会社になります。

6 その他記者からの当日質問

なし